DYNAC
BUSINESS REPORT

株式会社ダイナック 株主通信

第74期 中間決算報告書

平成29年1月1日～平成29年6月30日

新店舗情報

ブランド力・信用力を軸に展開
受託事業は好循環を継続

TOPICS

WEB会員の来店促進に焦点を定め
ポイント山分けキャンペーンを実施

FOCUS

“選ばれるブランド”を目指し
コーポレートサイトを一新

証券コード2675

株主の皆さまへ TO OUR SHAREHOLDERS

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社第74期事業年度（平成29年1月1日～平成29年12月31日）第2四半期における事業概況をご報告するにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当上半期におけるわが国経済は、基調としては緩やかな回復を続けているものの、外食業界におきましては、消費者の節約志向の高まり、原材料価格の上昇、人材不足による人件費の上昇等により、経営環境は一層厳しさを増しております。

このような状況の下、当社は「お客様感動満足」を起点とした更なる会社の成長の実現に向け、より付加価値の高い分野の業容拡大並びに構造変革など、当社事業の強みを活かした運営基盤の強化に取り組むとともに、食に対する安心・安全の追求及びお客様に最高の商品・サービス・環境をご提供できる店づくりを心がけてまいりました。

業績におきましては、売上面では天候不順の影響がありましたが、「倶楽部ダイナック(顧客会員カード)」のポイント増量キャンペーンなど様々な販売促進活動を行ったことにより、売上高は17,383百万円(前年同期比0.0%減)となりました。利益面では、より一層店舗管理コストの最適化に努めましたが、外形標準課税の税制改正に伴う税率変更の影響等により、経常利益は143百万円(前年同期比9.9%減)となりました。また、4店舗を売却したことに伴う事業譲渡益を計上したこと等により、四半期純利益は126百万円(前年同期は四半期純損失73百万円)となりました。なお、中間配当金につきましては、当初の公表通り1株当たり6円とさせていただきました。

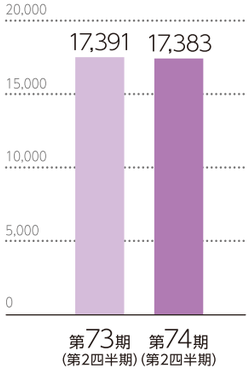
当社は、引き続き「お客様感動満足」を起点とした会社の成長に取り組み、お客様への提供価値をより一層高めてまいる所存です。株主の皆様におかれましては、今後とも一層の力強いご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年9月
代表取締役社長　若杉和正

財務ハイライト FINANCIAL HIGHLIGHT

（ %表示は、対前年同四半期増減率 ）

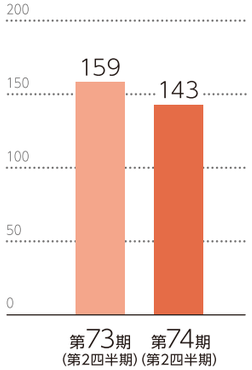
売上高（百万円）



↘0.0%減
（前年同期比△8百万円）

売上高は、天候不順の影響がある中、「倶楽部ダイナック（顧客会員カード）」のポイント増量キャンペーン等の様々な販売促進活動を行いましたが、前年同期実績を下回る結果となりました。

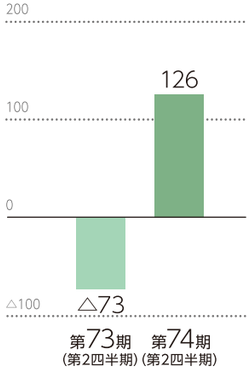
経常利益（百万円）



↘9.9%減
（前年同期比△15百万円）

経常利益は、より一層店舗管理コストの最適化に努めましたが、外形標準課税の税制改正に伴う税率変更の影響等により、前年同期実績を下回る結果となりました。

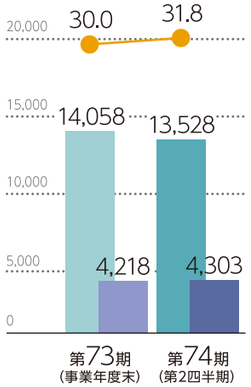
四半期純利益又は四半期純損失（△）（百万円）



↗ － %増
（前年同期比+199百万円）

四半期純利益は、4店舗を売却したことに伴う事業譲渡益を計上したこと等により、126百万円の純利益となりました。

総資産／純資産／自己資本比率（百万円）



総資産は、主に売掛金、現金及び預金等の減少により前期末より530百万円減少。純資産は、主に利益剰余金が増加したことにより前期末より85百万円増加。この結果、自己資本比率は前期末より1.8ポイント増加の31.8%となりました。

新店舗情報
バー・レストラン事業

ブランド力・信用力を軸に展開

当上半期は、大阪の新たなランドマークとして注目される超高層ビル“中之島フェスティバルタワー・ウエスト”に大阪初出店の「響」を、名古屋初進出となるマスターズドリームハウスの業務運営をサントリー社より受託し、ブランド力・信用力を軸に店舗展開しました。また、ターミナル駅に近く、潜在的な需要が大きい「燦」など4店舗をリニューアルし、ブランド価値の深化と成長基盤の強化に努めました。

響 中之島フェスティバルプラザ店

大阪 中之島 New Open 2017.4.17

洗練空間で黒毛和牛の醍醐味を厳選ワインと共に

大阪の新たなランドマーク、「中之島フェスティバルタワー・ウエスト」にオープン。さまざまなシーンでご利用になれる個室も充実。木と石を魅力的に配した落ち着いた空間で、黒毛和牛の醍醐味を厳選ワインで心ゆくまでお楽しみください。

MASTER’S DREAM HOUSE NAGOYA

愛知 名古屋 New Open 2017.4.7

ザ・プレミアム・モルツの魅力を体験できる旗艦店

名古屋駅直結のJRゲートタワー内に、「ザ・プレミアム・モルツ」の魅力と愛知産食材を使った料理が楽しめる旗艦店が名古屋に初進出。ビールが造られる過程をイメージした醸造家のこだわりを感じていただける空間で、寛ぎの時間をお過ごしください。

パパミラノ 東京国際フォーラム店

東京 丸の内 Renewal Open 2017.3.9

大テーブル席を新設 気軽に本格イタリアンを

薄焼きピッツァと生パスタが人気のカジュアルイタリアン。木の温もりが溢れる店内は、向かい合わせのテーブル席のほか、中央にカフェのような大きなテーブルを新たに設けました。お1人様でもお気軽にご利用になれます。

池袋ワイン倶楽部

東京 池袋 Renewal Open 2017.3.18

肉料理など新メニューが加わり、食欲を刺激

厳選ワインとステーキやピッツァが、リーズナブルに楽しめるワイン酒場。溶岩石で焼き上げるグリルが加わり、肉料理のラインナップが充実し、人気のピッツァは食べ頃サイズに見直しました。新メニューが食欲をさらに刺激します。

アリーズバー

東京 八重洲 Renewal Open 2017.5.11

バースペースを一新 寛げる大人のバーへ

東京駅八重洲口徒歩3分のオーセンティックバーが、鉄と木と石の調和というコンセプトを踏襲しつつバースペースを一新。ゆったりした心地よいシート、4名様から18名様までミドルチェアのスペースが設けられ、一層くつろげる空間となりました。

燦 大阪店

大阪 梅田 Renewal Open 2017.5.18

ミナミ方面を一望できるテーブル席を増加

厳選素材を大胆にアレンジした和食でお客様をもてなす、ダイナミックキッチン＆バー。地上127mからミナミ御堂筋が一望できるコーナーを、テーブル席にリニューアルしました。ご接待や会食に最適な個室も充実。夜景と美食をお楽しみください。

新店舗情報
運営受託事業

受託事業は好循環を継続

当上半期は、日本最大級の国際展示場「インテックス大阪」内のカフェ、ゴルフ場レストラン2店舗の運営を新たに受託いたしました。ゴルフ場レストランの受託事業（ゴルフ練習場を含む）は75場となり、豊富な実績が評価されて新たな案件を呼ぶ好循環を継続しています。今後も質の高いマネジメント力を強化し、業務の拡大に努めてまいります。

インテックスカフェ

大阪 大阪市　New Open 2017.4.1

日本最大級の国際展示場で本格スタイルのカフェを

総展示面積約7万3千㎡を誇る、大型の国際展示場「インテックス大阪」内のカフェの受託運営を開始しました。洋食中心のメニュー構成で、選りすぐりの食材を使ったカフェ飯が人気。イベント開催時はもとより、各種パーティ等の会場としてもおすすめです。

ゴルフ場レストラン

三鈴カントリー倶楽部

三重 鈴鹿市　New Open 2017.4.1

北海道カントリークラブ

北海道 七飯町　New Open 2017.4.24

三鈴カントリー倶楽部

TOPICS
トピックス

WEB会員の来店促進に焦点を定め ポイント山分けキャンペーンを実施

応募者は前年比約2.5倍！

2017年5月1日～6月30日の期間限定で「倶楽部ダイナック（顧客会員カード）」WEB 会員の新規登録促進と来店促進を狙いとした「最大8,000万ポイント山分けキャンペーン」を実施しました。

今回は応募者数と連動して獲得ポイントが増えるユニークな企画が好評で、既存のWEB会員への告知と新規WEB会員への登録を店頭ポスターやホームページ等で告知した結果、応募総数は昨年同時期に実施したキャンペーンの約2.5倍（約1万6千人）と大幅にアップし、会員1人当たりの獲得ポイントは3,000ポイントを超えました。

これまでの実績から多くの会員が獲得した電子クーポンをその後利用する傾向があることから、当キャンペーン以降の売上の確保と底上げに大きく寄与するものと予測しています。

WEB会員10万人の目標達成が目前

「倶楽部ダイナック」におきましては年ごとにキャンペーンを実行し、WEB会員の増加を目指しています。この効果もあってWEB会員数は順調に伸びており、全来店客数に占める割合も増えています。当社は2018年までにWEB会員数10万人という目標を掲げていますが、キャンペーンが奏功し、達成が目前となってきました。今後もさまざまな企画を通じて、WEB会員の再来店促進と新規登録促進に注力してまいります。

“選ばれるブランド”を目指し コーポレートサイトを一新

「ダイナックらしさ＝ホンモノをつなぐ」を表現

2017年7月、自社ホームページのコーポレートサイトを全面リニューアルしました。今回「ホンモノをつなぐ」というコンセプトの下、ダイナックの強みや魅力を分かりやすく表現したほか、サイト訪問者が使いやすいようにページ構成やデザイン、コンテンツを一新しました。

トップページでは、ダイナックらしさを「ホンモノをつなぐ」という言葉で表しています。「ホンモノ」には、上質でおいしさ溢れるホンモノの料理、プロフェッショナルな技能を習得したホンモノの人材という、2つの意味を込めています。お店で働くスタッフがホンモノを追求し、産地からの情報・技術・経験を店舗へ、先輩から後輩へ、調理スタッフと接客スタッフの間で「つなぐ」ことでお客様により質の高い商品・サービスを提供したいという想いを表現しました。

また、従来のサイトは写真と文章で紹介していましたが、今回動画も使って視覚的に紹介。また、デザイン面ではナビゲーションを改良し、画像やアイコンを多用することで、知りたい情報により早くたどり着けるよう、レイアウトに配慮しました。

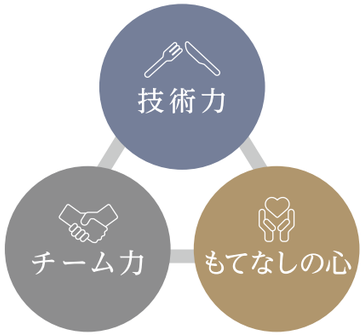
旧 コーポレートサイト トップページ(PC版)

新 コーポレートサイト トップページ(PC版)
▶ https://www.dynac.co.jp

強みとなる「3つの想い」を伝える

コンテンツには、当社の強みである「技術力」「チーム力」「もてなしの心」を紹介する『ダイナックの想い』と、ホンモノをつなぎ続けてきた当社の軌跡を写真で紹介する『ダイナックの歴史』を設けました。

『**ダイナックの想い**』では、ホンモノをつなぐ集団であるために磨き続けている、商品開発や接客サービスといった**「技術力」**、お客様の笑顔のために生産者を含めて協働する**「チーム力」**、お客様の心まで満たす**「もてなしの心」**の3つの想いを紹介しています。さらに「技術力」のページでは、先輩が自分の経験・知識を後輩に分かりやすく伝えることでホンモノの技術力がつながれていく様子を紹介しています。なお、コンテンツにつきましては順次アップし、充実させていく予定です。



『ダイナックの歴史』ページ

『ダイナックの想い』ページ

『**ダイナックの歴史**』では、1958年の創業から今日までの歩みをビジュアル中心に訴求。沿革と共に、その時代に開発した業態の写真を紹介し、「これからも食の楽しみをダイナミックにクリエイトし続けます」というメッセージにつなげています。

当社はこれからも全スタッフが「全てはお客様感動満足のために」という行動指針の下、自己研鑽に努め、お客様から“選ばれるブランド”を目指し、取り組んでまいります。

四半期財務諸表 FINANCIAL STATEMENTS

■ 四半期貸借対照表 (単位：百万円)

科　目	当第2四半期末 (平成29年6月30日現在)	前期末 (平成28年12月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	3,193	3,720
現金及び預金	499	654
受取手形及び売掛金	1,839	2,146
たな卸資産	229	284
その他	651	662
貸倒引当金	△ 26	△ 27
固定資産	10,334	10,337
有形固定資産	4,809	4,687
建物	4,083	4,004
その他	725	683
無形固定資産	189	196
投資その他の資産	5,335	5,453
敷金及び保証金	4,639	4,717
その他	933	973
貸倒引当金	△ 238	△ 237
資産合計	13,528	14,058

科　目	当第2四半期末 (平成29年6月30日現在)	前期末 (平成28年12月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	6,884	7,493
買掛金	1,693	2,532
短期借入金	2,130	402
一年以内返済予定の長期借入金	220	355
未払法人税等	172	397
未払費用	1,907	2,454
その他	761	1,352
固定負債	2,339	2,347
長期借入金	300	342
退職給付引当金	1,206	1,163
資産除去債務	774	782
その他	58	58
負債合計	9,224	9,840
(純資産の部)		
株主資本	4,291	4,207
評価・換算差額等	12	11
純資産合計	4,303	4,218
負債・純資産合計	13,528	14,058

(注)記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

■ 四半期損益計算書 (単位：百万円)

科　目	当第2四半期 (平成29年1月 1日から 平成29年6月30日まで)	前第2四半期 (平成28年1月 1日から 平成28年6月30日まで)
売上高	17,383	17,391
売上原価	15,235	15,274
売上総利益	2,147	2,116
販売費及び一般管理費	1,999	1,955
営業利益	147	161
営業外収益	2	5
営業外費用	6	7
経常利益	143	159
特別利益	104	-
特別損失	25	145
税引前四半期純利益	222	14
法人税、住民税及び事業税	60	40
法人税等調整額	36	47
四半期純利益又は四半期純損失(△)	126	△ 73

(注)記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

■ 四半期キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

区　分	当第2四半期 (平成29年1月 1日から 平成29年6月30日まで)	前第2四半期 (平成28年1月 1日から 平成28年6月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 937	△ 981
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 726	△ 445
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,507	1,174
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 155	△ 252
現金及び現金同等物の期首残高	654	598
現金及び現金同等物の四半期末残高	499	345

(注)記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

株式の状況 Stock Information (平成29年6月30日現在)

株式の総数及び株主数

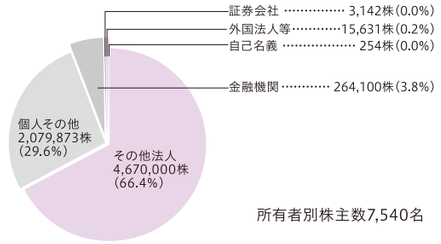
発行可能株式総数…… 24,000,000株
発行済株式の総数(単元株式数100株)…… 7,033,000株
株主数…… 7,540名

大株主

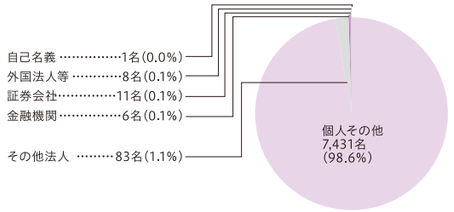
株主名	所有株数	持株比率
サントリーホールディングス株式会社	4,340,000 株	61.7 %
ダイナック従業員持株会	171,300	2.4
鴻池運輸株式会社	150,000	2.1
日本生命保険相互会社	84,000	1.2
株式会社三井住友銀行	60,000	0.9
株式会社三菱東京UFJ銀行	60,000	0.9
株式会社佐々木	40,000	0.6
三井住友信託銀行株式会社	40,000	0.6
関口 正明	20,500	0.3
三井住友海上火災保険株式会社	20,000	0.3

所有者別の株式数と株主数

所有者別株式数7,033,000株



所有者別株主数7,540名



株主優待制度のお知らせ Information For Shareholders

ダイナックでは、株主様の日頃のご支援とご愛顧に感謝を込めまして、株主優待制度を設けております。この優待制度は、当社の事業活動に触れていただく機会をご提供させていただくことで、当社をよりご理解いただくことを目的としたものです。これからも株主様との対話を通じた信頼関係を築いてまいります。今後とも暖かいご支援と変わらぬご愛顧をよろしくお願い申し上げます。

■ 株主優待の方法

毎年6月30日及び12月31日現在の株主様に対し、年2回、以下の基準により株主優待お食事券を贈呈いたします。

(1)贈呈基準
①所有株式100株以上500株未満　：株主優待お食事券　2千円(1,000円券　2枚)
②所有株式500株以上1,000株未満：株主優待お食事券　6千円(1,000円券　6枚)
③所有株式1,000株以上(一律)　　：株主優待お食事券　12千円(1,000円券12枚)
※お食事券をご希望されない株主様には、全ての株主優待お食事券をご返送いただいた場合上記贈呈基準に応じて①2kg　②5kg　③10kgのお米(コシヒカリ)と交換いたします。

(2)利用方法
当社が経営する店舗(贈呈者には一覧表にて別途通知)においてご飲食の際使用できます。

(3)有効期間
発行日より1年間

(4)送付時期
6月30日現在の株主様……9月下旬頃
12月31日現在の株主様……翌年3月下旬頃

会社概要 Corporate Data (平成29年6月30日現在)

商号	株式会社ダイナック
本社所在地	東京都新宿区新宿一丁目8番1号
設立年月	昭和33年3月
資本金	17億4,162万円
店舗数	254店舗
決算期	12月31日（年1回）
社員数	961人
事業内容	各種業態の飲食店の経営及び受託

◆ 役員 (平成29年6月30日現在)

代表取締役社長	若杉和正
専務取締役	田中政明
常務取締役	米倉通浩
取締役	保坂孝徳
取締役常勤監査等委員	岡哲義
取締役 監査等委員	小松美喜男
取締役 監査等委員	安井信裕

「投資家の皆様へ」のサイト
https://www.dynac.co.jp

株主様や投資家の皆様に、当社の**事業活動**についてご理解を賜るべく、ホームページに**「投資家の皆様へ」のサイト**を設けております。また、次々にオープンする新店舗の情報や各店舗のお得なイベント情報など「美味しい情報」をタイムリーに提供しております。

株主メモ Shareholders' Memo

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会:12月31日 期末配当金:12月31日 中間配当金: 6月30日 ※その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告方法	当社のホームページ(https://www.dynac.co.jp/ir)にて電子公告により行います。 ただし、電子公告を行うことができない事故やその他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-782-031
ホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
上場証券取引所	東京証券取引所

● 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社にご連絡をお願いします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先までご連絡ください。

● 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出には、上記の電話照会先までご連絡をお願いします。

□ 株式会社ダイナック 法務・総務部
〒160-0022 東京都新宿区新宿一丁目8番1号
TEL.03-3341-4216 / FAX.03-3352-4915

UD FONT

●ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。
●この印刷物は地球に優しい大豆油インキとエコロジーペーパーを使用しております。